

Dai com Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [だいこんプレス]

Vol.
27
2019



特集

日本全国に広がる同窓会ネットワーク

同窓会が提供したアーチと生徒会

リレー座談会
「あれから30年…」(26期)
OB・OG教職員の近況報告

小川 靖夫 先生
森田 広志 先生

教職員を応援しよう

教諭 佐々木 武 先生
教諭 今川 公美子 先生

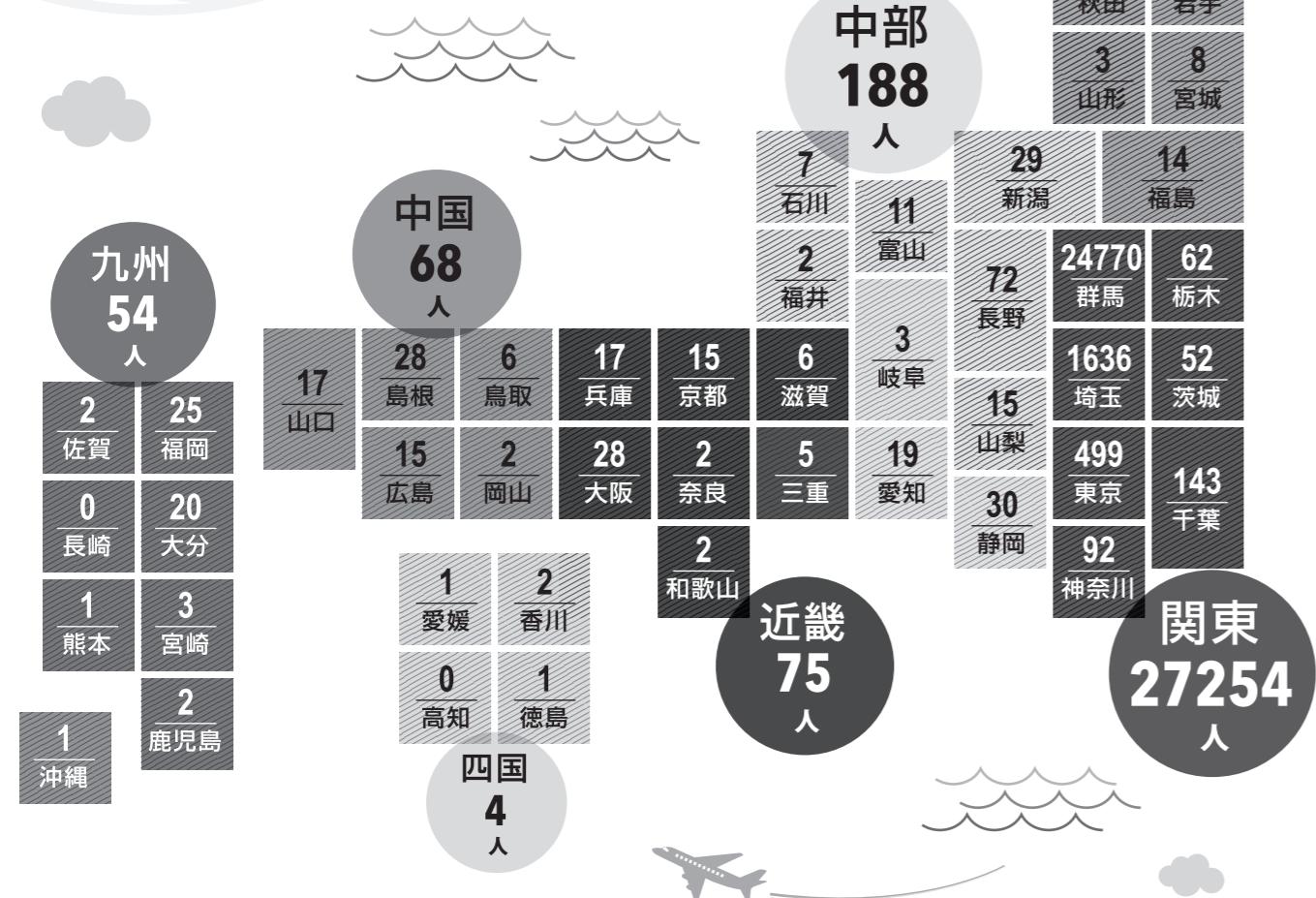
総会 2019年6月8日(土) 18:00より エテルナ高崎

関東大会に出場した演劇部

日本全国に広がる 同窓会ネットワーク

44都道府県に在住する農二同窓生

約34,000人を超える農大二高の卒業生は、日本全国で活躍しています。調べたところ、その分布は青森、高知、長崎を除く44都道府県に在住していることがわかりました。また残念ながら住所がわからない方が7,000人近くいることも判明。この特集をきっかけに、母校のつながりで語り合える人との出会いや再会が増えることを願っています。



海外にも広がるネットワーク

現在39人が海外に在住しており、日本だけでなく世界にも広がる同窓会のネットワークになっています。同窓会では、海外で暮らす同窓生からの情報を順次集めて、ウェブサイトで紹介してまいります。出張や旅行などで海外に渡航する際の情報源として、是非ご活用ください。

※同窓会名簿の最終住所で集計しています。
住所変更した際は、事務局までご連絡ください。

全国各地、世界各国で暮らす農大二高同窓生

進学、結婚、転勤など様々な理由で群馬を離れて暮らす同窓生からのメッセージです。

東京農業大学オホツクキャンパスから52期生たちの声



豊かな大自然に囲まれた日本有数の畑作地帯オホツクの大地に立つ、東京農業大学オホツクキャンパスで学ぶ同窓生4人からのメッセージ。

下杉 駿太さん=① (地域産業経営学科/生物蚕業ビジネス研究所)

「ホタテ漁のアルバイトをしています。社会勉強の一環として漁師さんと学生のパイプ役になり、漁師さんたちの仕事のお手伝いをしています」

萩原 大樹さん=② (地域産業経営学科/流通・マーケティング研究室)

「大学では野球部に所属し、全国制覇をめざし日々練習に励んでいます」

金井 圭吾さん=③ (地域産業経営学科/地域活性化研究室)

「道内のあちこちでキャンプするなど、北海道ならではのアウトドアを経験しています」

倉林 蓮さん=④ (アクアバイオ学科/水圈基礎生物学研究室)

「大学ではラグビー部に所属し、主務・キャプテンを任せられ、チームの勝利に貢献しました」

陸上、アメフトで培ったメンタルを武器に闘う商社マン



柳井 直樹さん (22期生)

米国テネシー州ナッシュビル市在住 伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社 米国法人 Division 2 President

在学中は陸上部に所属。明治大学法学部に進学。運動はもうコリコリ、アーバイトでもして楽しく過ごすつもりが、勧誘されるままに体育会アメフト部へ入部。4年間は運動漬けの日々でした。東西学生オールスター選手に選抜され、主務という立場でチームを運営。陸上部での経験がプレーに影響を与え、鳥羽先生の教えが主務としての組織運営の参考になったことを思い、感謝の気持ちでいっぱいです。

卒業後は伊藤忠商事(株)に入社。東京本社、広島支社、米国、メキシコ勤務を経て、2016年よりシカゴ、2018年よりナッシュビルにて、再度米国駐在。現在、北米自動車ビジネスの責任者として働いています(現在は2001年の会社分割により異動した伊藤忠丸紅鉄鋼(株)に勤務)。世界経済の動向、トランプ大統領の方針に気をもみながら活動しています。高校時代から続く「挑戦の旅」はまだまだ終わりません!

瀬戸内海の周防大島で今も助産師をしています



屋敷 あや子さん (旧姓:須田) (7期生)

助産師

近年、外国人旅行者に大人気の瀬戸内海の島々。その一つの周防大島で生活して35年。周防大島は人口およそ1万8千人。美味しいミカンの産地で超高齢化(長寿)でも有名です。私の6人の子どもたちもここで育ちました。

農二を卒業して48年になります。高校3年の時に父が病に倒れ、両親には働きながら夜間の大学で学ぶと伝えました。目に涙を浮かべた父に「これから女性は資格を持って働くのがいい」と言われ、担任に「資格が取れて学費の負担の少ない学校はないか」と相談すると、群馬大学の看護学校を紹介してもらいました。卒業後は助産師となり、44年経った今も働いています。助産師は母子の命を預かる大変な仕事で、常に未熟な自分と格闘してきました。たくさんのお母さん・赤ちゃんに寄り添い、一緒に歩もうと努めて、いつの間にか時が過ぎたというのが実感です。



東京農業大学第二高等学校
同窓会長

清水 洋 (5期)



東京農業大学第二高等学校

大西 修

平成30年4月就任

同窓会員の皆様、同窓会活動にご理解とご協力いただきまして誠にありがとうございます。同窓会広報誌の『だいこんプレス』もお陰様で第27号が発刊できること、ご協力賜りました皆様に感謝申し上げます。

会長として、母校入学式や卒業式に出席させていただき、後輩たちの態度や先生方の様子は、礼節を踏まえながらも伸びやかな雰囲気の生徒達と、それを暖かな眼差しで包み込む先生方の姿で、昔と変わらぬ農大二高らしさに、心から安堵し、同時に応援したいと強く感じました。

今、世の中は凄いスピードで様々な変化しています。この様々な変化を考えると、同窓会の在り方も変化していくことが自然だと思います。同窓会は、世代交代を考慮しながら新会員獲得に向けた魅力ある組織にしていくことが求められています。同窓会には色々な委員会の他に、首都圏支部(吉田茂夫支部長)と関西支部(坂口富美江支部長)があります。首都圏・関西支部の交流会等の案内を同窓会HP等でもいたしますので確認ください。両支部ともに農二育ちの同窓生特有の和気あいあいとした和やかな交流の場となっており、初めてお会いする同窓生の方との出会いはとても有益なものだと思います。また、今年より首都圏では、大学生の集まりとして農大の先生と学生が中心となって、首都圏支部の集いも開催する予定です。同窓会HP等で案内したいと思います。

同窓会には課題もあります。期別懇親会やOB会等に参加している方は多いのですが、同窓会に身を傾け協力してくださる方の人数は増えています。この同窓会を活性化させる為に、本部役員が一体となって色々な方策を検討しています。期別懇親会の開催、部活動OB会の開催等を積極的に支援援助するだけでなく、広く世代を越えての懇親、交流が図れるよう、ゴルフ大会・総会懇親会・その他も開催しています。会報の『だいこんプレス』や同窓会のHP等でご案内いたしますので、お誘い合わせの上、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、母校の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

今年度より、村清司先生の後を引き継いで農大二高の校長を務めることとなりました。昨年度まで東京の都立高校で校長をしておりましたが、縁あって農大二高の校長となりました。初めての群馬県、初めての学校で校長を務めるという状況で4月にスタートをいたしました。

コース制を平成27年度に導入し、コース制の指導のメリットである個に対応したきめ細かな指導を実践し、平成30年の春には国公立現役79名合格という目覚ましい進学実績を挙げています。部活動においても、その活躍は期待通りのものでした。

今年度に入り、農大二高はさらに「進化」しています。エンパワーメントプログラムや海外研修旅行等に加え、セブ島の英語教師とテレビ電話で会話学習するOn Line Englishやセブ島への語学研修等のグローバル化を急激に推進しています。また、大学法人との連携を進め、校内のICT化に向けての準備も着々と進んでいます。新しいことへチャレンジする力は農大二高の大きな魅力です。

一方、吹奏楽部は全国大会での活躍はもとより、高崎マーチングフェスティバルや中川小学校周年行事への参加等「農大二高の吹奏楽部」の活動は地域からも愛されています。寺尾塾(地元の中学生の学習指導補助)や「ようこそ先輩!」事業(小学校へボランティア・チューターとして派遣)、応援團とJRC部がNHK「ほっとぐんま640」「おはよう日本」に取り上げられる等、地域に根ざした活動やボランティア活動に主体的に取り組む生徒が増えています。正月には、箱根駅伝を走った卒業生や農大陸上部の選手が学校を訪ねてくれました。みんな二高のプライドに輝いて見えました。

これからも農大二高の文と武が充実し、眞の文武両道となって未来に向かって主体的に取り組める人材を育成し、高崎のブランドとして輝けるよう取り組んで行きます。母校のためになお一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

同窓会インフォメーション

01. 同窓会ウェブサイトがリニューアル

リニューアルしたウェブサイトは、だいこんプレスのアーカイブ、農大二高全曲集、各クラブ活動OB会などへのリンクなど、充実した内容になりました。是非、ご覧ください!

●農大二高同窓会ウェブサイト

<https://nounidousoukai.gr.jp/>



02. 同窓会総会開催のご案内

3年に一度の農大二高同窓会総会を下記の通り開催いたします。是非、お近くのお仲間を誘ってご参加いただき、恩師や友人との旧交を温める機会にしてください。

●農大二高同窓会総会

日時／6月8日(土) 18時より

会場／エテルナ高崎

学校インフォメーション

01 » 中学生の学力向上に一役買う「寺尾塾」

平成27年から、高崎市の学力向上事業の一環として行われている「寺尾塾」を開催しています。高崎市立寺尾中学校の3年生が来校し、本校の生徒が教師役となり楽しく充実した学習を行っています。中学生は満足した様子であり、本校生徒も中学生の質問に答えることで内容への理解が深まり良い機会となりました。



02 » グローバル教育、本格化！

リスニング、スピーキングの強化を目指し、11月から「オンライン英会話」がスタートをしました。タブレット端末を用いた海外との「オンライン英会話」には約100名が参加しています。

また、台湾の大学進学説明会には150名を超える生徒・保護者が参加し、来年度からは放課後を利用した中国語講座が開講されます。さらに、今年3月に実施される2週間のセブ島語学研修には、24名の生徒が参加します。グローバル教育が本格化します！



03 » 懇親團が地域交流

懇親團は、地域との交流として農大二高に隣接している鶴見園地の夏祭りに招かれ、リーダー公開を行いました。また、高崎卸商社街共同組合(ビエント高崎)の「上州どっく楽市」にも参加し、日頃の活動の成果を披露しました。



04 » 二高祭と体育祭が毎年開催に！

これまで隔年開催だった二高祭と体育祭が、平成31年度より、両事業共に毎年開催されることになりました。詳しい日程などは、農大二高のホームページでご確認ください。

メディアで紹介された農二同窓会・同窓生ニュースまとめ

農二トピックス

高崎市副市長に、斎藤達也さん（14期生）が就任



昨年6月、斎藤達也さん（14期生）が、高崎市副市長に就任しました。斎藤さんは昭和53年に高崎市に入庁し、産業政策課長などを歴任し、平成27年4月から商工観光部長として、中心市街地の活性化などに取り組んできました。

斎藤副市長は、福祉、医療、観光、農政などを担当。「高崎市はレベルが高く、スピード感のあるまちづくりが進んでいる。志を持って、高崎市の発展に尽くしたい」と抱負を語りました。

ソフトバンク周東佑京選手（50期生）、侍ジャパンU-23で活躍



ソフトバンクの周東佑京選手（50期生）が、U-23ワールドカップに「侍ジャパン」として出場。ライトを守る周東選手は強肩を生かし、守りの野球の要として活躍しました。

今シーズン、ファームで27盗塁を記録し、ウエスタンリーグの盗塁王となり、フレッシュオールスター GAMEでも2安打を放ち、優秀選手に選ばれるなど輝きを放っています。

来シーズンはさらなる活躍が期待されます。1軍で戦う姿を楽しみにしています！

第25回育英基金 チャリティーゴルフ大会

日時／平成30年11月3日

場所／サンコー72カントリークラブ

育英奨学基金へのチャリティを行われている同窓会ゴルフコンペが、116名の参加者で開催されました。チャリティで寄せられた216,000円の净財は、同窓会が運営する育英奨学基金の資金となり、在校生の学業継続支援に活用されます。

毎年、文化の日に開催されるこのコンペは、ゴルフを通じた同窓生の交流の場所となっていますので、初心者の方でもお気軽にご参加ください。

【成績】男子優勝 戸澤 靖さん（20期生）

女子優勝 伊丹清美さん（18期生）

団体優勝 18期



男子優勝戸澤靖さんの代理の中村さん



女子優勝の伊丹清美さん



団体優勝18期代表の黒岩さん



表彰式の様子

同窓会費は、同封の振込用紙または銀行振込で納入して下さい。

同窓美術会「グループ窓」展覧会を開催



昨年の9月28日～10月3日にかけて、高崎シティギャラリーにおいて「第18回グループ窓展」が開催されました。油絵、墨絵、現代アート、写真など幅広い世代の作品を集めた展覧会となりました。

寄稿 OB・OG教職員の近況



元教頭(国語科) 小川 靖夫

二高を退職して日々の雑用に取り組んで暮らすうちに、はや10年が経とうとしています。

毎年秋には退職職員の有志で作った「二高会」に参加し、お招きした現役の先生方と旧交を温めたり、現在の二高の様子をうかがったりして、気持ちを若返らせています。

また、ふとした縁で卒業生が集まる会に顔を出した折りなど、多くのOBの諸君が高崎市の中核を担う人材として活躍する姿に接して、ひとり悦に入っております。

無為の生活にも飽きた私は、五・六年前から「哲学堂」の会員になって、毎月最終土曜日の夕刻に、檜物町の「棗(なつめ)」という和風喫茶の店に集まっておしゃべりを楽しめます。人生に退屈してきたら、どなたでもどうぞこちらにお出かけください。

表紙について

(上) 「平成最後の二高祭」

9月22日（土）、23日（日）に、平成最後になる「第28回二高祭」が開催されました。当日は、生徒達による様々な発表や展示、招待試合などが行われ、約5000人の方々で賑いました。同窓会からは、正門アーチの提供や、緑揚会によるTシャツの販売などを行いました。



(下) 「演劇部関東大会出場」

演劇部が、12月に関東大会に出場しました。3名という少人数ながらも精鋭揃いで、地区予選や県大会を突破し、関東大会出場という演劇部史上初めてとなる快挙を成し遂げました。皆さんも是非、これから演劇部の活躍をご期待頂くとともに、温かいご声援のほどよろしくお願いします。



元保健体育科 教員 森田 広志

在職中は大変お世話になりました。クラス・クラブで共に学び・喜び・涙した事は私にとって心の宝です。ありがとうございます。

退職後は、神主をしています。社家(世襲制度)の長男として生まれ育ち、代子(地域)の人達は当然神主と思っていた様です。教職に進み最初は、少々大変な事もありました。今は子供達からお年寄りまで、祭祀に協力参加し、盛大に斎行されています。又子供達の獅子舞も頑張っています。

伊勢神宮「神嘗」平成26年10月15・16日斎行の外部奉仕官司として命ぜられ(関東地区4名)、当日は午後10時、午前2時、正午、午後6時の四度参進し本殿へ、白石の上にゴザ一枚で正座2時間を行度、寒さ、緊張、膝の激痛に耐えた、奉仕でした。

日々の楽しみは、農二生徒・OB・OG 皆様の活躍を新聞等で拝読する事、孫達の送迎時の会話、ガキ大将の頃の友人との酒盛りであり元気に過ごしています。

農大二高の活躍を願い、またOB、OG、退職された教職員の皆様、ご健康でご活躍を！！

平成29年度退職者（平成30年3月）

校長	村 清司	H25.4.1～H30.3.31
教諭（数学）	塩谷 知絵	H21.4.1～H30.3.31

同じ場所、同じ時を過ごした仲間が集う
リレー座談会

「あれから30年…」



入学前の農大二高のイメージ、または入学を決めた理由は？

丸山■小さい頃からの夢だった甲子園に一番近い高校だと思い入学した。

福島■中学時代にやっていたソフトテニスの強豪校だったから。

黒田■神流町（旧中里村）の出身で、中学の先輩に農二に進学した人が何人かいた。スポーツが盛んで楽しそうな印象だった。当時は、学校の近くで下宿生活を送っていた。

栗原■第一志望の公立高受験に失敗して。最初は落ち込んだが、夏休み頃には友人にも恵まれ楽しくなった。

岡■スポーツの強豪校で進学実績も良いという印象。同じ中学からも大勢進学していたし、いとこも通っていたのによく話を聞いていて楽しそうだと思った。

八木■同じ中学の陸上部の先輩たちが、活躍していた。さらに5期上に100m日本記録保持者の太田裕久さんとオリンピックに出場した不破弘樹さんがいて、憧れて入学した。

印象に残っている先生は？

関根■ラグビー部顧問の小川先生と伊藤先生。当時、部活以外では極力避けたかった。また、中学で走り幅跳び県大会4位だったので、陸上部に誘われていたのにラグビー部に入ってしまい、入学3日目に陸上部顧問の鳥羽先生に大玉をくらったことは今でも記憶に新しい。

北形■1年の担任で、美術の外旭先生。よく美術準備室に遊びに行った。学ランの襟カラーを付けないと「襟カラーは学生の基本！」とすごく叱られた。とにかく教え子が大好きな先生で、結婚式に出席してくれるなど、昨年他界されるまでずっと交流が続いた。

八木■陸上部顧問の鳥羽先生。1年の時、国体で優勝した直後に肉離れを起こし、都内の有名な鍼灸院に連れて行ってもらった。大学で陸上をしているときも良く連絡をくださった。

丸山■農二は先生と生徒の距離が近い。運動部の顧問には名物先生が多く、バレー部の「キリン」、柔道部の「はっ

ちゃん」、剣道部の「つっちー」と、生徒たちは親しみを込めて、コッソリあだ名で呼んでいた。担任の富田先生や小安先生によく叱られた。

学校生活や部活動の思い出

諫佐■自転車で烏川にかかる木製の佐野橋を渡る通学路が懐かしい。学校を目前にした坂道はきつかった。

岡■中庭をはさんで男子クラスと女子クラスが離れていたので、男子校と女子校があるようだった。昼休みは異性に対し、ポジティブ派とネガティブ派で過ごし方が違っていた。

福島■旧群馬町の自宅を6時50分に出て、自転車に乗り、急いで30分くらいで登校し、帰りは部活で疲れて、1時間かけて10時頃帰宅。理系女子クラスの仲の良かった5人とは、今も年1回東京で会っている。

丸山■2年のコース選択で理系に進み、部活と勉強の両立が大変で、甲子園が終わるまではプライベートで遊んだ記憶がほとんどない。部活引退後は、定期代を遊びに使ってしまい、熊谷から農二まで自転車通学したことが今では良い思い出。

八木■短距離、長距離どちらも優秀な選手が揃い、「第2期黄金期」と呼ばれて期待されていたインターハイ。自分がアンカーだった1,600mリレーは、ゴール目前で抜かれ総合準優勝になってしまった。栗原■圧倒的に女子の多い茶道部だったが、テレビの時代劇で見たお茶席のシーンが印象に残り入部した。週に一回外部講師が来て手ほどきを受けた。大学に進学しても茶道部に入ったので、我ながらよほど興味が膨らんだのだと思う。

当時の流行、ファッション、世の中の出来事、事件など印象に残っていること

岡■当時、ファミコンが流行っていて高崎駅東口のビックカメラで「ドラゴンクエストⅢ」を買った。何日か徹夜でプレイし、クラスで一番早くクリアした。

北形■友達に誘われて、河合その子と中山美穂のコンサートを群馬県民会館まで見に行った。

黒田■昭和から平成へと時代の移り変わりがあったのが2年の時。群馬県出身の小渕さんが「平成」という新元号を発表



出席者
(写真左上より)

八木 均さん／陸上競技部

丸山 勝成さん／野球部

北形 信也さん／空手部

黒田 靖裕さん／空手部

福島 展子さん（旧姓：森田）／ソフトテニス部

関根 英一さん／ラグビー部

栗原 巧さん／茶道部

岡 正典さん／生徒会

諫佐 英樹さん

していたのが印象的。

関根■高校2年のラグビーの全国大会花園で、昭和天皇崩御のため決勝戦が中止となり、2校が優勝となった。ちなみに農二是Aシードで2回戦負けだった。

諫佐■とにかく同級生が多い。高崎で働いていると、同窓生に会う確率が高いので、卒業してから知り合った人が多いのも農二の特徴。

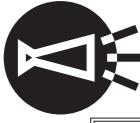
ときは応援にも行った。ラグビーや陸上など、とにかく運動部が強い。空手部は弱かったけれど、周りの活躍を励みに頑張ることができた。

北形■26期生は個性が強く、楽しかった。卒業生には世の中で活躍している人が多い。社会に出てからも農二出身といふことで親近感がわいたり、つながったりすることも多い。息子も現在、在学中。保護者には卒業生が多く、母校のためにみんなでバトンをつないでいる感がある。

女子で健大高崎が脅威になってきたが、インターハイ県大会で勝って四国にみんなで行けたことがよかった。

福島■吹奏楽部の演奏のクオリティが高いことと、ラグビー部、野球部、陸上部が全国的な活躍を見せた。ソフトテニス





期別会、OB・OG会の活動情報

タテヨコ

関西支部

事務局長■太田 裕之 (20期生)



昨年、山崎秀夫支部長が近畿大学教授を退官し、群馬へ帰ることになったために支部長が交代となりました。山崎支部長、長きに渡りご尽力有り難う御座いました。

昨年12月9日、新大阪駅前の新大阪ワシントンホテルにて、関西支部の懇親会が行われました。新支部長に坂口富美江さん(26期)が選出されました。また、懇親会には清水同窓会長も駆けつけてください、楽しくてそして懐かしい話に花を咲かせました。

関西支部はとてもアットホームです。気軽に参加してください。関西在住の農二同窓生であれば、誰でも参加できます。同窓会のホームページで定期的に活動を案内いたします。

支部長／坂口富美江(26期)、顧問／新井松夫(1期)
事務局長／太田裕之(20期)、事務局長補佐／東江裕之介(46期)

3期会

会長■神宮 直仁

平成26年10月の3期会で、次回は平成30年秋頃、70歳になった時と決定ましたが、幹事が体調を崩し、見送りとなってしまいました。期待をしていた皆さんには大変申し訳なく思っております。改めて今年5月頃には開催したいと準備しています。

前回の東京五輪が開催された昭和39年に入学し55年、来年には再び東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。同窓生が皆元気で集まり、顔を合わせ近況を語れる日が来ることを願って幹事有志で頑張りたいと思っております。

12期会

会長■芝崎 勝治



昨年11月3日(土)、ホテルメトロポリタン高崎にて「12期還暦同窓会」を開催しました。卒業した昭和51年はロッキード事件が世間を騒がせ、流行語は「記憶にございません!」、流行歌大賞は「およげたいやきくん!」、日本が元気な成長期でした。当日は『ciel』の演奏で当時の曲を聴きながら、久々の同窓生との酒杯を重ね賑やかな会となりました。

- | | | |
|-------|-------|----------------|
| ■関西支部 | ■21期会 | ■緑揚会 |
| ■3期会 | ■23期会 | ■緑走クラブ |
| ■12期会 | ■27期会 | ■ソフトテニス部OB・OG会 |
| ■18期会 | ■46期会 | ■吹奏楽部OB会 |
| | | ■ラグビーOB会 |

18期会

会長■鈴木 千秋

第4回18期会を下記の通り開催します。前回の平成26年は恩師の先生方にも大勢ご参加いただきました。5年振りとなる今回も、是非多くの18期生の皆様にご参加いただきたいと思います。

日時／4月28日(日) 12時より
会場／ホテルメトロポリタン高崎

●連絡先／小野里勝 TEL.090-3572-8427

21期会

会長■中村 丙午

4年振りとなる第2回21期同窓会を下記の通り開催いたします。前回(83名)を超える同級生の皆さんと楽しいひと時を過ごしたいと、役員一同で企画を進めていますので、21期生の皆さん、奮ってご参加ください！

日時／7月13日(土) 17時より
会場／高崎ホワイトイン

●連絡先／代表幹事 須藤正光 TEL.080-1339-3217

23期会

会長■佐藤 勉



平成21年の初開催と比較すると半分の参加人数でしたが、吹奏楽部OBや応援団OBにより、校歌や青山ほとりの演奏が催され、賑やかな同窓会となりました。人生100年と言われる時代に皆、半世紀を全力で駆け抜けまいりました。視力・体力の衰えを実感しているところですが、当日は、気持ちだけは10代の頃に戻り、昔話に花を咲かせました。

●連絡先／事務局 ob23@nounidousoukai.gr.jp

27期会

代表幹事■中村 克彦

4年に一度の27期同窓会が近づいてまいりました。逢いたい方にオリンピックイヤーにたった一度です。この機会を逃すことなく、笑顔で逢えること楽しみにしています。「農大二高第27期卒業生2020年2月高崎集合!!」

●連絡先／中村・桑原・清水・田中・村上・井草・本多
TEL: 090-1840-0288

46期会

会長■落合 哲郎



1月3日にメトロポリタン高崎にて46期同期会を開催しました。約10年ぶりの再会となり、60名弱の友が集まりました。久しぶりに再会する顔を見て、始めは少し緊張も見えましたが、皆さん和気あいあいと盛り上がりいました。

今回の開催は未定ではありますが、その際には今回参加できなかった方にもお会いできますことを楽しみにしています。

緑揚会

会長■竹内 一普 (24期生)

当会はH30年度より従来生徒個人で購入していた自転車用ステッカーを作成し学校に贈呈する事業を開始いたしました。これは、学校を通じ生徒全員に配布されています。

●緑揚会とは…農大二高OB・OGで構成する経営者団体です。今後も学校および現役生徒支援の為に様々な角度から支援事業を検討してまいります。入会ご参加お待ちいたします！

●連絡先／事務局 三村 TEL:090-3146-5177

緑走クラブ

会長■鳥羽 完司

昨年、陸上競技部OB会では、卒業生及び学校関係者により、群馬県陸上競技協会に加盟する「緑走クラブ」を設立いたしました。当クラブは、陸上競技を楽しむ爱好者が集い、公認競技大会に必要な陸連登録を希望する選手の受け皿づくりと、母校の陸上競技部への支援活動を設立の大きな目標としています。更に、練習会・陸上教室などの活動を通して、陸上競技の普及・発展に貢献しながら会員相互の融和親睦を図ります。当クラブでは、新年度の会員を募集しておりますので、入会希望者は下記までご連絡ください。

会費 ◇一般会員／年会費 2,000円
◇陸連登録希望者／年会費 7,000円
◇賛助会費／一口5,000円(年会費)

●連絡先／会長 鳥羽完司 TEL:090-8774-2541
副会長／清水洋(農二陸上部OB会長)
副会長／齋藤嘉彦(農二陸上部監督)
事務局長／廣木憲治 TEL:090-2725-3369
事務局／城戸口直樹(農二陸上部長距離監督)

ソフトテニス部OB・OG会

会長■佐藤 喜芳(20期生)



平成最後の農大二高ソフトテニス部OB・OG会総会及び懇親会を、2月2日(土)高崎メトロポリタンにて開催致しました。現役生の活躍を願い、OB・OG会としてどのような支援が出来るか、有意義な話し合いが出来ました。来年は、2月1日(土)の開催となります。今後とも宜しくお願い致します。

吹奏楽部OB会

会長■櫻島 道雄(1期生)



吹奏楽部OB会では、毎年恒例のOBと現役生合同による演奏会を開催します。今年は、例年と違い5月4日(みどりの日)にベイシア文化ホール(群馬県民会館)で開催しますので、お間違えのないよう、ご来場ください。本番へ向けての練習も開始しておりますので、出演希望の吹奏楽OBの皆さん、お気軽にお問い合わせください。

■スプリング ポピュラー コンサート 2019
日時 2019年5月4日(祝土)みどりの日 午後2時開演
会場 ベイシア文化ホール
入場料／500円

●連絡先／神澤こずえ(22期) TEL: 080-4336-0858

ラグビー部OB会

会長■岡田 祐介 (27期生)

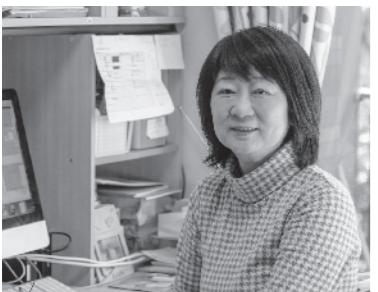


3月9日(土) ホテルメトロポリタン高崎にて総会・懇親会(32期が学年幹事)を開催致します。今年度の新OB・OGを迎える1000人を超えるOB会となりました。昨年7月には「伊藤薰先生 還暦をお祝いする会」を開催し、全国からOB・OGが150名ほど集まり、思い出話を盛り上げました。

また、先日の新人戦では3年ぶりの優勝をかぎり冬の全国大会に向かって大いに期待できる結果となりました。OB会は引き続き、現役生のサポートを全力でやってきます！捲土重来

さまざまな場所・分野で活躍する同窓生をご紹介

同窓生を訪ねて



飯島由樹子さん（11期生）
アニメーション・美術・背景



鈴木良幸さん（12期生）
NIPPON omotenashi専門学校 校長
一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会 会長



名雲純一さん（17期生）
名雲書店



吉田昌弘さん（20期生）
吉田だるま店
群馬県達磨製造協同組合 理事長

アニメの世界観を支える 背景画の第一線で活躍

デジモンアドベンチャー、平成版ひみつの世界へ飛び込み40年になる。アッコちゃん、日本昔ばなしなど、多くの人の記憶に残るテレビアニメの背景画や美術監督を担当してきた飯島さん。作画手法がアナログからデジタルに移行する時代の真っただ中で、第一線を走ってきた背景画家の一人だ。

絵を描くのが好きで、小学校低学年から近所の絵画教室に通った。将来は美術教師を志していた時期もあったが、現実は狭き門。「ならば確実に絵で食べていて、これまで描いてきた絵が生かせる場所へ」とアニメの中でも背景画

の世界へ飛び込み40年になる。

リアルからポップまでどんなタッチも見事に描き分けられるのが飯島さんの強みだ。10年間で5社を渡り歩き、フリー集団でさらに10年。40歳で「スタジオMAO」を起業した際は「若手時代にあらゆるジャンルの作品に携わった経験が生きた」と語る。会社を離れた現在は在宅で仕事を続けながら、大学講師として学生を指導。今思えば、高校時代に志した絵の先生という夢を叶えていたと気付く。

日本が誇るおもてなしの文化を世界へ

おもてなしとは日本が世界に誇る文化。「お客様が欲していることに気付いて応えられるホスピタリティ精神を養うには、仕事に対する誇りや志しを持てる心の育成が重要だ」。そう語る鈴木さんが校長を務める「NIPPONおもてなし専門学校」は、日本ならではのおもてなし力を身に付けたホテルマンを養成する、日本初の外国人向け教育機関。2013年4月に開校したばかりの同校は、服飾専門学校の運営で明治時代から歴史を築く学校法人鈴木服飾学園（現NIPPON ACADEMY）と、群馬ロイヤルホテル

教育事業部が2011年に業務提携を結んだことから始まる。

同校の魅力は、ホテル主導の専門学校ならではの充実した実習環境だ。知識は行為と一体である、という意味の「知行合一」の考えを大切にした本物に触れる教育を行い、人材不足が深刻化するサービス業界に多くの人材を輩出し貢献してきた。「いずれ地方にも国際化の波が押し寄せる。その時、外国人と日本社会とを繋ぐかけ橋のような存在になれたら」と意気込みを語った。

世紀の大発見で歴史の解明に大きく貢献 古書業界のゴッドハンド

日本をはじめ世界各国の古書を専門に取り扱う名雲書店。代表の名雲さんは、学生時代からシーポルト事件や蘭学に興味を持ち、日本きつての古書の町・東京は神田で修業。26歳で帰郷し実家の古本屋を継いだ。

名雲さんはこれまでに杉田玄白の漢詩や、姫について記された日記、日本初の英和辞書「英和対訳袖珍辞書」の原稿などを発見。昨年は、世界最古の熱帯植物図鑑「彩色ジャワ植物図譜」を都内の古書市場で発掘するなど、まさに世紀の大発見を成し遂げた。数々の功績から

ゴッドハンドの異名をとる名雲さんだが、「本がまとう蔵の冷たい空気やカビのような独特の匂いを感じ、ぱっと見た瞬間に引き寄せられる。史料の方から見つけられるために現れてくれたのでは」と話す。

2011年より丸善・日本橋店にオープンした、選ばれし世界の古書店が集うワールドアントリークブックプラザにも日本代表として出展中の名雲書店。今後も「何百年と生き抜いた奇跡のような本を次世代に伝え、古本屋の使命を果たしていきたい」と熱く思いを語った。

高崎だるまの伝統を未来へ紡ぐ 新たな取り組みに注目

縁起だるまの名所・少林山の麓に位置する豊岡・鼻高地区でだるま作りを始めて120余年の吉田だるま。代々続く家業を守るのは、4代目の吉田昌弘さんだ。

農大を卒業後、22歳で弟子入りした吉田さん。修業時代は、「父のそばに張り付いて、伝統の顔描きをひたすら観察した。うちならではの表情を真似るよう、曲線の描き方ひとつについ注意を払い練習を重ねた」と振り返る。代替わりをした今では、伝統の縁起だるまをはじめ、群馬交響楽団をモデルにしたオーケストラ

だるまや、干支やハロウィンといった季節行事にちなんだデザインだるまも評判。そこには「この先も、この地域にだるま作りの文化を残したい。若い人にも気軽に手に取ってもらい、そこから伝統の良さを伝えられれば」という思いが込められている。

昨年の6月には群馬県達磨製造協同組合の理事長に就任。今後は「一度は途絶えた伝統技法の張り子の復興や、地元をだるまの里として活性化させることに一役買っていきたい」と理事長としての抱負を語った。



堤 雅之さん（21期生）
堤建設株式会社 代表取締役社長

「温故知新を大切に」 地域密着型の仕事で生きる

住宅の新築やリフォーム、公共建築物の修繕などを手がける堤建設。先代からのお得意様を中心とした地元の建設業に幅広く携わる、地域密着型の工務店だ。

代表取締役社長の堤さんは、農工時代は新聞部会に所属。「クラスメイトが放課後に新聞制作に勤しむ姿に心惹かれた」と、親譲りの性分から精力的に活動した。学生時代から家業を意識し、卒業後は建築学科のある工業大学へ進学。構造力学を学び、修業のため北海道の建設会社に就職した。修業先ではマンションや銀

行、県立病院などの建設に携わり、4年後にUターン。昨年、50歳という節目に代替わりを迎えた。「温故知新という言葉に倣い、これからも古き良き建造物を温めながら未来に残す仕事がしたい」と仕事への思いを語る、誠実さの滲む表情が印象的だ。

プライベートでは、温泉好きが高じて温泉ソムリエの資格を取得。培った知識は接客面でも生かされ「打ち合わせのトークが弾む」と堤さん。現在は2つ星へのランクアップを目指し、検定に向けて日々勉強中だ。



芝原 晶子さん（26期生）
AST Translation Service

「好きな英語を仕事に」 学生時代からの夢を実現

幼い頃から学んできた英語を将来の仕事に生かしたいと志し、農工卒業後はアメリカの短大へ留学した通訳・翻訳家の芝原さん。「両親を説得するため、必死でプレゼンをした」と当時の思い出を振り返る。

現在は、工業・技術系企業を専門に、商談や会議の逐次通訳、外国人のアテンド通訳、ビジネス文書の翻訳などで活躍。現職に就いたきっかけは、派遣時代に出会った、エンジニアの通訳・翻訳アシスタントという仕事だった。「ここに需要があると気付いた。目の前で新しい技

術が開発されることにもワクワクした」。今まで知らなかった世界への興味が深まり、この分野で生きていこうと決意。実務経験を積み、工業英検2級を取得した2012年に独立した。仕事での信念は「流れるように美しい日本語」を追究し続けること。AIによる自動翻訳が進化する昨今、機械には真似できない人間味が時代を生き抜く武器となる。

最近は、趣味でイタリア語を勉強中だといい、イタリア旅行も計画中だ。「学んだ語学力を旅先で試したい」と話す笑顔は輝いていた。



welcome to my shop

ウェーブスイミングクラブ



押見 幸夫さん（16期生）
北群馬郡吉岡町大久保851
TEL:0279-30-6260

「水泳初心者が初めて潜った時に思わず泳ぎたくなるように」。水泳の楽しさを教えるために平成15年にオープン。澄んだ水にこだわり、特殊なろ過システムを導入した天然ミネラル100%のプールは、塩素臭が少なくアレルギー体质でも安心して利用できると評判を呼んでいる。押見代表は「会員もスタッフも仲良しのアットホームな雰囲気の中で、生涯スポーツとして長く水泳を楽しんでもらえたら」と語った。

tonbi coffee



間庭 邦夫さん（29期生）
高崎市菅谷町531-10
TEL:027-360-6513

高崎市郊外に併む小さなビーンズショップ。大学時代「マスターのいる喫茶店の雰囲気に魅了された」という間庭さんが31歳の時に開業した。取り扱う豆は、中南米や東南アジアなど世界各国の名産地から厳選。ほどよい酸味を残した中煎りからコクと苦みを堪能できる深煎りまで、さまざまな焙煎度合いの豆を常時20種類ほど取り揃えている。コーヒーとのマリアージュを考えた自家製ケーキのティカウトもオススメ。

はしごや本店



高橋 通さん（29期生）
前橋市総社町総社2835-5
TEL:027-251-4920

祖母が始めた食堂の人気メニューを看板に掲げ、父の代でラーメン屋に。味付け肉とキャベツの炒めを豚骨系の醤油スープにトッピングした「一発ラーメン」は、肉だけで150gというボリューム感と炒め油のラードで持続するアツアツ感がポイント。先代からのファンも根強い。ラーメン以外にも、代表の高橋さんが小学校からの友人とともに始めた唐揚げ専門店「アバッヂ」にも注目。4月には市内に2号店がオープン予定だ。

牧野酒造 株式会社



牧野 顯二郎さん（32期生）
高崎市倉渕町権田2625-1
TEL:027-378-2011

元禄3年に創業した県内最古の造り酒屋。代表銘柄「大盃」「榛名山」など、榛名山の伏流水で仕込む日本酒は、軟水のやわらかな口当たりと米の甘さが生きるすっきりとした味わいが評判だ。17年ほど前には、東京農大の醸造学科や静岡の酒蔵で酒造りを学んだ18代目の顯二郎さんが家業を継承。「アルコールや日本酒を飲まない層にもアプローチできる商品作りをしたい」と近年は米焼酎や粕取り焼酎、梅酒なども手がけている。

教職員を応援しよう

寄稿 1 教諭 佐々木 武 先生

母校愛を育む生徒を

同窓会の皆様におかれましては、日頃より多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。同窓生ではない私が、このような機会を頂きましたので、粗末な文書ではありますが、精一杯務めさせていただきます。

現在、1年14組IIIコースの担任をしております。指導教科は情報、クラブ顧問は硬式野球部で野球部長を仰せつかっております。出身は群馬県から遠く離れた岩手県の釜石市です。農大二高との縁は、大学時代の恩師が農大二高の卒業生(22期)であり、その方からのご紹介を頂き、今日に至ります。

入社当初から私自身が強く感じていることがあります。それは農大二高の同窓生の母校愛の強さです。どの方も母校を気にかけ、今でも応援をして下さっています。また、当時の高校生活や先生方との思い出話を伺いますと、皆さん笑顔で語って下さいます。

このような母校愛を持ち続けられるような学校を継承し、農大二高の益々の発展に貢献出来ればと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。



寄稿 2 教諭 今川 公美子 先生

埼玉県出身で群馬県内の大学を卒業後、ご縁があり、最初は非常勤講師として農大二高に参りました。現在は、3年10組担任、教務部、空手道部顧問を務めさせていただいております。同窓会の皆様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

農大二高で教鞭を執り今年で7年目になりますが、日々生徒が様々なことに一生懸命取り組む姿を見て感心するとともに、授業や部活動を通して多くの時間や思いを共有させていただけることに幸せを感じております。私自身は幼い頃から空手道に打ち込んで参りましたが、その中でも特に高校3年間の活動は、私にとって様々な成功や失敗を繰り返した濃密な時間でした。教員として高校生と向き合う今、生徒には何事にも失敗を恐れず挑戦することで、様々な経験を重ね、自分に自信をつけて社会に出てほしいと願っています。夢を力に、主体的で前向きな挑戦ができる教育活動を目指し、農大二高の発展に貢献できるよう努力して参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

現役生の活躍

陸上部 石田 洋介 (1年)



小学5年で陸上を始め、中学3年の全国大会で1500mと3000mを制し、都道府県対抗駅伝では区間賞を受賞。ジュニアオリンピックでは3連覇を果たし、最後の年は3000mで中学生新記録も打ち立てた。将来に期待の集まる選手だが、練習環境や指導方針などを決め手に農大二へ進学。直近の目標は、世界クロカンの出場権獲得を狙う予選で力を発揮すること。「将来は世界と戦える選手に成長し、オリンピックの舞台に立ちたい」。今後の活躍から目が離せない。

演劇部 部長 池野 桃 (2年)

初の関東大会出場 !!

高校芸術祭演劇部門大会において地区予選、県大会を突破し、12月の関東大会への出場を果たした演劇部。部長の池野さんは「今年は役者3名という少人数でも勝ち進むことにこだわり、今までに演じたことのない題材に挑戦した」と話す。演目は、ハンガリー出身作家のアゴタ・クリストフの戯曲「エレベーターの鍵」を現代日本に置き換えた風刺劇を披露。解釈の難しさに苦労もしたが、大胆な戦略が功を奏し、演劇部としては初の快挙を達成した。



TOPICS OF THE SCHOOL

理科系の三部活動が凄い!!

＼ 部長対談 ／

生物部 × 化学部 × 物理部

部長 岩崎 陽佑さん(2年) 部長 五十嵐 沙紀さん(2年) 部長 高橋 美羽さん(2年)



—入部のきっかけは?

岩崎◆顧問の砂川先生の授業が面白くて興味を持つようになり、先輩も接しやすい方ばかりでした。また、数学の研究や数学オリンピックの出場が目標で、そこに打ち込めるのが生物部でした。

五十嵐◆国語と理科が得意科目で、文系コースに進むことを決めていたけど、大好きな化学にも関わっていたかったのが入部の理由です。身边にあるものが全て元素でできていると考えると、化学の奥深さにはとても魅力を感じます。

高橋◆今年発足したばかりの部で、顧問の先生が物理に興味のありそうな生徒に声を掛けたことがきっかけです。物理は、新しい考え方で日常に潜むあらゆる現象の理由を解決できるところが好きです。

—部活ではどんな研究を?

岩崎◆数学を使って、生物の現象を分析するのが主な活動です。具体的には、植物の展開構造を研究しています。3月に農大で行われる発表に向けてその成果をま



とめているところです。それから、水生生物の飼育や農作物の栽培なども行っています。

五十嵐◆雁行川の水質調査(COD)が今年で10周年になります。調査の仕方や手順を学びながら、上流と下流で川の汚れの値にどんな差が出るかを調べています。個人的には、リーゼンゲン現象という事象に興味があり、その分析実験に取り組んでいます。まだ誰も明解していないことを調べることが楽しいですね。

高橋◆できたばかりの部なので、部員同士やりたいことを模索しながら活動しています。現在取り組んでいるテーマは、水面に液体を垂らした時に、水溶液の球体が転がる現象。同じ現象に興味を持っていた仲間と協力して、3月の農大での発表に向けて実験中です。



——どんな瞬間に楽しさを感じる?

五十嵐◆先日、CODの実験をしたとき、想定していた値に小数点第一位までピタッと揃いました。CODの値を出してみるとこれまでの変化がわかり、毎回準備など大変だけど楽しいです。それとCODの値は雪や雨が降った時など、天候に大きく左右されます。色々な条件を分析してみたいので、最近は雪が降るのを待ちにしています。

岩崎◆先輩と一緒に、中庭で育てている鑑賞用の桃の実を使ってジャムを作ってみました。個性的な先輩たちと、自由に樂しく活動をしている時間が楽しいです。

高橋◆自分が立た仮説通りに現象が起きたときやそれを立証できた瞬間は達成感があります。

——今後の目標ややってみたいことは?

岩崎◆クラゲを飼っている同級生と共同で、微生物でも分解できる生分解性プラスチックを作っています。納豆に含まれるポリグルタミン酸γでプラスチックが作ることはわかっていましたが、同じ成分であるクラゲの粘液を活用して、プラスチックらしきものの生成に成功しました。これが実用に繋がるかはまだ未知ですが、最終的にはそこに結び付け面白いたとっています。

五十嵐◆今年度は、全国の化学が好きな中高生が集まる「化学グランプリ」に2、3年生で初参加しました。かなり高度な知識が必要なテストだったので、もっと知識を深めて来年もまた挑みたいです。

高橋◆今は、3月の農大での発表のことで頭が一杯で、まずはそれを頑張りたいと思います。いい結果が残せたら、また新しいテーマを見つけて実験していきたいです。

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	0	総会費	0
年会費	1,706,200	会議費	200,177
預金利息収入	53	事業費	3,540,580
雑収入	677,500	事務費	13,850
特別会計より繰入	0	印刷費	0
総会費	0	広報費	153,000
前年度繰越金	8,008,137	慶弔費	81,580
		雑費	0
		予備費	0
		全国大会出場激励費	200,000
		特別会計へ繰出	3,000,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	1,000,000
		次年度繰越金	1,202,703
合計	10,391,890	合計	10,391,890

※29年度の入会金は28年度に入金済み

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	68	次年度繰越金	4,070,796
前年度繰越金	4,070,728		
合計	5,070,796	合計	5,070,796

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	奨学金	723,240
寄付金収入	195,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	68	次年度繰越金	8,609,026
前年度繰越金	8,137,198		
合計	9,332,266	合計	9,332,266

一般会計

収入の部	金額	支出の部	金額
入会金	5,620,000	総会費	0
年会費	2,800,000	会議費	200,000
預金利息収入	100	事業費	4,000,000
雑収入	1,000,000	事務費	20,000
特別会計より繰入	0	印刷費	20,000
総会費	0	広報費	150,000
前年度繰越金	1,202,703	慶弔費	100,000
		雑費	0
		予備費	882,803
		全国大会出場激励費	250,000
		特別会計へ繰出	3,000,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	1,000,000
		次年度繰越金	0
合計	10,622,803	合計	10,622,803

※30年度より入会金は学校事務の変更により4月に入金

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	50	次年度繰越金	4,070,846
前年度繰越金	4,070,796		
合計	5,070,846	合計	5,070,846

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	奨学金	723,240
寄付金収入	200,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	50	次年度繰越金	9,085,836
前年度繰越金	8,609,026		
合計	9,809,076	合計	9,809,076

事務局だより

だいこんプレスは会費を納入頂いた方のみにお送りしています。

農大二高同窓生の活躍や母校、恩師の様子をお伝えしている本誌は、同窓生からのお振込みいただく会費を制作原資としています。卒業生が3万4千人を越える大所帯となり印刷費だけでなく郵送費の事も考え、昨年より会費を納入して頂いた同窓生だけに配布しております。

この同窓会誌を見られない同窓生には、同窓会ホームページで今までの広報誌全てを公開していますので、ホームページを見て頂くこととなります。但し、農大二高在校生と卒業後5年間に限り、配布・送付しております。

同窓生のコミュニケーション紙として大きな役割を担っている本誌の発行継続のため、会費納入の継続・協力とご理解を宜しくお願ひいたします。

同窓会長 清水 洋

●同窓会ホームページ

農大二高同窓会 検索 

●広報委員会メールアドレス

kouhou@nounidousoukai.gr.jp

●Facebook

東京農業大学第二高等学校 同窓会 検索 

●編集委員募集

だいこんプレスの編集委員を募集しています。

詳しくは同窓会HPをご覧ください。

会費納入のお願い

同窓会の運営にご協力ください。

①ゆうちょ銀行

同封の払込用紙でゆうちょ銀行窓口よりお振り込みください。
この会費は、同窓会の運営のほか、現役生へのクラブ活動や学業支援に活用されています。

②銀行

下記口座へお振込みください。尚、手数料が必要となります。

金融機関 支店名：群馬銀行 高崎支店

科目 口座番号：普通 1493175

口座名義：ノウダイニコウドウソウカイ

会費：一口 2,000円